

山極勝三郎物語「うさぎ追いし」が秋から今年末にかけて全国各地で封切されます。

山極先生は我々が郷里の長野県上田市出身の偉人です。今の人たちは知らない人が多いようですが、明治から大正の時代にかけて癌の原因究明のために尽力しました。うさぎの耳に人工的に癌を発生させ、その原因究明に功績があり、ノーベル賞候補になりながらも亡くなりました。語られることが多くなくとも、現在の癌治療の礎を築いた「人類の恩人」で、医学、理学系の学生で知らない人はいないはずですが、この山極先生の物語が映画化されました。ちなみに、ゴリラの先生こと人類学者の山極壽一現京大総長は遠縁だそうです。

上田高校の3期先輩の映画プロデューサー永井正夫さんが手掛けた劇場映画です。永井さんは「のぼうの城」や「スパイ・ゾルゲ」といった真面目な映画のプロデューサーですが、自身も癌から生還したことから、病床で映画化を思い立ったのだそうです。永井さんの手掛けたかつての映画同様に、この映画も超が付く真面目な「劇場映画」です。この映画のロケは80%以上が上田市でおこなわれたそうですが、学会の場面などに高校同級生数人がエキストラで画面に出てきたりするので、真面目な物語の中、思わぬところで笑いました。

この映画はアートシアター方式の自主製作映画で、プロデューサーと監督が先ずは数百万円ずつ拠出して制作委員会を立ち上げ、有名な役者さんもこの映画のことを話すと、（これは内緒ですが）ギャラは数分の一で引き受けてくれたそうです。作品は完成させたものの、その後で上映館を探すと言う、制作手段も配給ルートも有する大手の映画会社にはないチャレンジを続けているそうです。ようやくいくつかの上映館が手を挙げてくれましたが、現在も配給先に営業活動をしているそうですが、成否は初期の動員にあるようです。

11月上旬から長野県内の幾つかの映画館で、また、12月17日からは「有楽町スバル座」でお正月ロードショーが決まっているそうです。前売り券を入手しましたので謹呈いたします。是非ご覧いただき、ご友人の方々にもご紹介いただければ幸いに存じます。

宮原豊(9組)



「癌が作れば、癌は治せる。」
100年前。
世界が驚く実験を成功させたのは、
信州上田生まれの病理学者だった。
ノーベル賞の栄誉より、万人の幸福を願う
癌研究の先駆者・山極勝三郎の魂。
その壮絶な生涯。

名声より、わが命よりも大事なもの

うさぎ追いし

山極勝三郎物語

遠藤憲一 水野真紀 豊原功補 岡部尚 高橋恵子 北大路欣也
横光克彦 緒方美穂 尾崎右宗 秋月成美 森日菜美 古今亭文菊 白川和子 三上寛

プロデューサー 永井正夫【『のぼうの城』『スパイ・ゾルゲ』】 監督 近藤明男【ふみ子の海』『エクレール・お菓子放浪記』】
エグゼクティブプロデューサー 増田和悦 セネラルプロデューサー 島田基正

脚本: 藤原高志 / 撮影: 久保田悦朗 / 照明: 大久保武志 / 美術: 中川理仁 / 編集: 齋藤竜 / 音楽: 近藤洋明 / 製作: 『うさぎ追いし-山極勝三郎物語-』製作委員会 / 題字: 川村龍洲 / 配給: 宣伝: 新日本映画社
©2016『うさぎ追いし-山極勝三郎物語-』製作委員会 (2016 / ビスタサイズ/カラー / DCP / 111分) ROUTE INN group 東宝アカデミー 11月5日 STARTS ©STARTS スタッフ... 演劇部 EYE ON STAGE

11月5日(土)よりTOHO シネマズ上田、長野グランドシネマズにて先行公開
12月17日(土)より有楽町スバル座ほか全国順次公開